

☆通級指導教室で行う内容は

通級指導教室で行う指導とは、(1)特別支援学校学習指導要領における『自立活動』の項目の中から、個別に必要な指導内容を選んでの指導、(2)必要に応じて各教科の内容を補充するための指導、の2点です。

【かがやき教室で主に行う「自立活動」の内容】

2 心理的な安定

- (1)情緒の安定に関する事
- (2)状況の理解と変化への対応に関する事
- (3)障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関する事

3 人間関係の形成

- (1)他者とのかかわりの基礎に関する事
- (2)他者の意図や感情の理解に関する事
- (3)自己の理解と行動の調整に関する事
- (4)集団への参加の基礎に関する事

4 環境の把握

- (2)感覚や認知の特性への対応に関する事
- (5)認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関する事

5 身体の動き

- (1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関する事
- (5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関する事

6 コミュニケーション

- (1)コミュニケーションの基礎的能力に関する事
- (2)言語の受容と表出に関する事
- (3)言語の形成と活用に関する事
- (4)コミュニケーション手段の選択と活用に関する事
- (5)状況に応じたコミュニケーションに関する事

【具体的には・・・】

- ・注意が散漫で、活動にのりにくい面への対応
- ・強いこだわりがしばしば見られることへの対応
- ・感情をコントロールするのが苦手な面への対応
- ・読む・書く等のうち一部が極端に苦手な事への対応
- ・学校でしゃべらず、活動が困難な事への対応
など・・・

☆かがやき教室の時間割について

	月	火	水	木	金
8:50~10:20	○	○	○	○	○
10:45~12:15	○	○	○	○	○
13:50~15:20	○	○	△	○	○

- 1回の指導時間は90分。お子さんへの指導及び保護者面談です。
- 児童の実態に応じて、個別やグループ指導を行います。
- △は、在籍校訪問や研修、保護者面談などを行います。

☆学校案内図



リーフレット

かがやき教室

～発達・情緒のための通級指導教室～



さいたま市立与野南小学校

住 所：さいたま市中央区大戸 6-2-25

電 話：048-831-0157

F A X：048-831-0122

※通級途中の事故防止のため、保護者による児童の送迎をお願いいたします。

※欠席の時は、かがやき教室へ連絡をお願いいたします。

☆かがやき教室とは？

- ◎市内の小学校に通いながら、週に1～2回程度通っていただく発達・情緒のための教室です。
- ◎一人ひとりの子どもに合わせた支援方法によって、主に学校でかかえている困難の軽減をめざします。
- ◎子ども自身はもちろん、学校の関係者や家族の方々が、子どものかかえている困難を正しく理解し、対応できるように支援していく教室です。

☆名称の由来

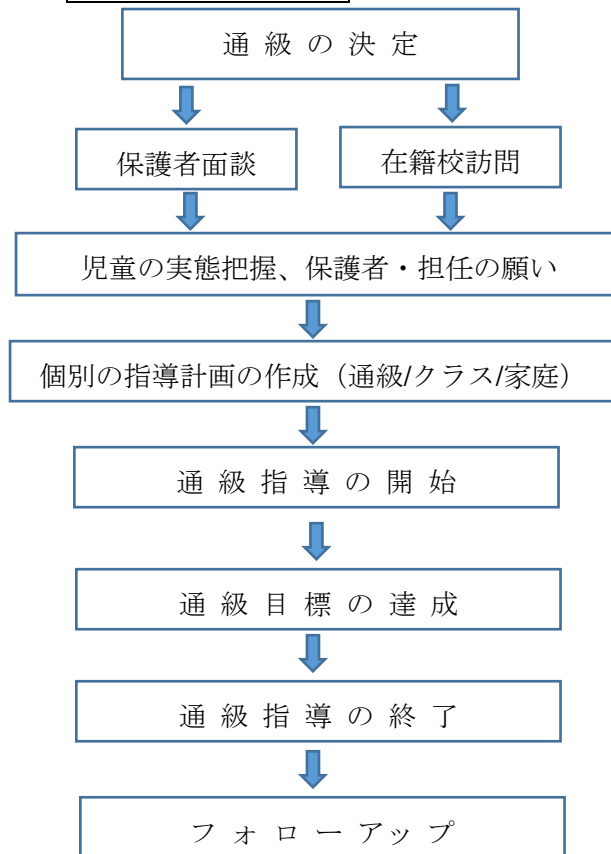
一人ひとりの児童が自分の良さに気づき、かがやいて、夢をもち、切り拓き、はばたいていく・・・

そんな願いを込め、さいたま市では小学校の発達・情緒通級指導教室を『かがやき教室』（26校）、中学校を『はばたき教室』（6校）と名付けました。市内の小学校の通級指導教室は、すべて『かがやき教室』となり、前に学校名をつけて呼び分けます。例えば本教室は、『与野南小かがやき教室』です。

☆通級による指導とは？

通級による指導とは、「通常の学級におおむね参加できるが、一部特別な指導を必要とする児童に対して、一人ひとりの困難さに応じた指導を行うこと」です。通級による指導は、**学校の教育課程の中に位置づけられています。**

☆指導の流れについて



☆大切にしていること（ポジティブ思考）

信頼感

わかってもらえる、話を聞いてくれるという体験を、たくさん積んでいくこと

自己肯定感

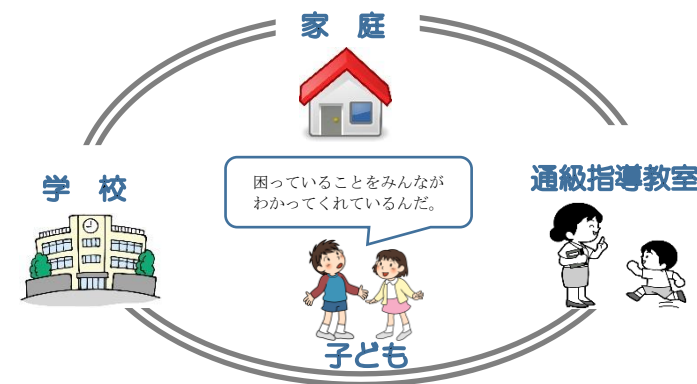
おこられる、失敗する、どうしよう→大丈夫、失敗してもあきらめない、できる、なんとかなるという思いに変わること

プラスを増やす

困った行動が減る、ではなくていい行動が増える、ということが困った行動の減る近道であるということ

☆みんなで一緒に考えましょう

一人で悩まないで、家庭・学校・通級指導教室・関係機関など、みんなで相談しながら、子どもたちを支えていきましょう。



☆指導がうまくいくのは・・・

- ◇「わがままだから」「もっとがんばれば」という見方が、大人からなくなった時。
- ◇「子どもは、みんなよく変わることができる」「みんないい子になりたがっている」と気付いた時。



☆つまり周囲の大人の見方が変わった時、子どもは、ぐ～んといい方向に進むのです。

通級教室では、子どもへの指導と同時に、学校や家庭が子どもをどう理解し、かかわるべきかについての提案もしていきます。

